

(2) カーネーション

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 萎凋細菌病 <i>Burkholderia caryophylli</i>	1. 土壌の蒸気消毒をする。 2. 無病苗を導入する。 3. 灌水は清潔な水を使用する。 4. ベンチ栽培をする。 5. 採花は手折りにする。 6. 被害株を完全に除去し、処分する。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	- - - --	ク ロ ー ル ピ ク リ ン ガ ス タ ー ド 微 粒 剤 バ ス ア ミ ド 微 粒 剤 (混)ディ・トラベックス油剤
2 立枯病 <i>Fusarium avenaceum</i> <i>F. tricinctum</i> <i>Gibberella zeae</i>	1. 土壌の蒸気消毒をする。 2. 無病苗を導入する。 3. ベンチ栽培をする。 4. 被害株を完全に除去し、処分する。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	- - - - -	ク ロ ー ル ピ ク リ ン ク ロ ピ ク 8 0 ド ジ ヨ ウ ピ ク リ ン ド ロ ク ロ ー ル ク ロ ル ピ ク リ ン 錠 剤 ガ ス タ ー ド 微 粒 剤 バ ス ア ミ ド 微 粒 剤
		定植時及び 活着後 (発病初期)	32	タ チ ガ レ ン 液 剤
3 さび病 <i>Uromyces dianthi</i>	1. 病葉は早く除去する。 2. 発病株からは採穂しない。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. 春秋に発生が多い。	発 病 初 期	7 M3	バ シ タ ッ ク 水 和 剤 7 5 エ ム ダ イ フ ェ ー 水 和 剤
4 斑点病 <i>Alternaria dianthi</i>	1. 過湿にならないようにする。 2. ガラス、ビニールハウス等の雨もりは早めに改修する。 3. 病葉は早く除去する。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. 露地栽培では、降雨直後の防除を徹底する。 2. ダコニールは着色期以降は使用しない。	発 病 初 期	19 19 M5	ポ リ オ キ シ ン A L 水 溶 剤 ポ リ オ キ シ ン A L 乳 剤 ダ コ ニ ー ル 1 0 0 0
5 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i>	1. 施設内が過湿にならないようにする。 2. 発病花は早く除去し、処分する。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. サンヨールは高温時には使用しない。 2. サンヨールは、うどんこ病、アブラムシ類、ハダニ類にも登録がある。	発 病 初 期	-	サ ン ヨ ー ル
6 アブラムシ類 (モザイク病 CMV)	1. 無病苗を導入する。 2. シルバーマルチ、シルバーストライブマルチ、シルバータープを使用する。 3. ハウスの開口部に防虫ネット(1mm目合以下)をはり、成虫の飛来を防止する。	発 生 初 期	3A 3A 4A 4A 4A	ア デ ィ オ ン フ ロ ア ブ ル ア グ ロ ス リ ン 乳 剤 ダ ン ト ツ 粒 剤 ア ル バ リ ン 顆 粒 水 溶 剤 ス タ ー ク ル 顆 粒 水 溶 剤
		ハウス内防除 (くん煙)	3A 4A	マ ブ リ ッ ク ジ ェ ッ ト モ ス ピ ラ ン ジ ェ ッ ト
7 ハダニ類	1. ハウス栽培の場合にはハウス開口部にビニールによる折り返し(ダニ返し)をする。 2. 圃場内の収穫終了後の株や周辺雑草は発生源となるので、これらの処分、除草に努める。 3. 作物残さや雑草は、除去後に土中に埋没するか、ビニール等で密封し、半月程度放置する。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. 苗床での防除を徹底する。 2. ペンタックは施設栽培以外では使用しない。また、開花期には薬害を生じるので使用しない。 3. 二回切り栽培では、刈り込み直後は防除を徹底する。 4. モレスタン水和剤はうどんこ病にも登録がある。	発 生 初 期	3A 3A 6 10B 20B 21A 21A 21A UM - - --5	マ ブ リ ッ ク 水 和 剤 2 0 テ ル ス タ ー フ ロ ア ブ ル ア グ リ メ ッ ク バ ロ ッ ク フ ロ ア ブ ル カ ネ マ イ ト フ ロ ア ブ ル ダ ニ ト ロ ン フ ロ ア ブ ル サ ン マ イ ト フ ロ ア ブ ル ピ ラ ニ カ E W モ レ ス タ ン 水 和 剤 粘 着 く ん 液 剤 ペ ン タ ッ ク 水 和 剤 (混)ダブルシューターSE
			ハウス内防除 (くん煙)	3A 3A

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

カーネーション

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
8 アザミウマ類	1. ハウス開口部に防虫ネット（1mm目合以下）をはり、成虫の飛来を軽減する。 2. 被害植物や雑草は、除去後に土中に埋没するか、ビニール等で密封し、半月程度放置する。 3. 圃場周辺の雑草処理を徹底する。 4. ハウスでは青色粘着トラップを使用する。	発 生 初 期	1A 1B ー・5	オ ン コ ル 粒 剤 5 ス ミ チ オ ン 乳 剤 (混)ダブルシューター SE
9 シロイチモジヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. ハウス開口部を防虫ネット（4mm目合以下）で被覆すれば、飛来、産卵を防止できる。 <b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. 防除した後も成虫が飛来、産卵するので、常に幼虫の発生に注意する。	発 生 初 期 (若 齢 幼 虫 期)	18	ロ ム ダ ン フ ロ ア ブ ル
10 センチュウ類	<b>〈薬剤使用の特記事項〉</b> 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	8B 8B 8B 8B 8B 8A・8F	ク ロ ー ル ピ ク リ ン ク ロ ピ ク 8 0 ド ジ ョ ウ ピ ク リ ン ド ロ ク ロ ー ル ク ロ ル ピ ク リ ン 錠 剤 (混)ディ・トラペックス油剤